

問題（自転車の交通規則と基本的な心構え）

次の問題の答えを選択肢から選び、番号で答えなさい。

<信号無視：危険行為 1 関係> ※危険行為とは、自転車運転者講習制度の講習を受ける対象となる違反のことをいう。

問 1	信号機のある交差点等で、自転車の通行方法として誤りはどれか。 1 自転車は車両の仲間（軽車両）なので、自動車用の信号機に従うのが基本である。 2 歩行者用信号機に「歩行者・自転車専用」と表示された交差点では、車道を進行していてもその信号に従わなければならない。 3 歩行者用信号機が赤でも、自動車用信号機が青であれば自転車に乗って横断歩道を渡ることができる。
問 2	信号機で交通整理されている交差点での自転車の通行方法について、誤りはどれか。 1 対面の信号機が青のとき、直進し、左折することができる。 2 右折するときは、あらかじめ道路の中央により、交差点の中心の内側を進行しなければならない。 3 左折するときは、できるだけ道路の左側端に寄り、かつ、できるだけ道路の左側端に沿って徐行しなければならない。

<通行禁止、歩行者道路における車両の義務違反：危険行為 2, 3 関係>

問 3	「歩行者用道路」（歩行者天国など）における自転車の通行方法について、誤りはどれか。 1 自転車に乗ったまま「歩行者用道路」を通行することはできない。 2 補助標識で自転車の通行が可能な「歩行者用道路」を通行するときは、特に歩行者に注意をして走行する。 3 「歩行者用道路」であっても、警察署長の許可があれば自転車で通行できるが、通行に条件が付されている場合は、条件に従わなければならない。
-----	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<通行区分違反：危険行為 4 関係>

問 4	自転車の道路における通行方法について、誤りはどれか。 1 自転車は、歩道でも車道でも自由に通行することができる。 2 道路（車道）を通行するときは、原則として、道路の中央から左側を、左側端に沿って通行しなければならない。 3 歩道から車道、車道から歩道の乗り入れは、車道や歩道の安全を確かめた上で行き、また、歩道から車道に乗り入れる場合は、右側通行にならないようにしなければならない。
-----	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<路側帯通行時の歩行者の通行妨害 危険行為 5 関係>

問 5	自転車の「路側帯」における通行方法等について、誤りはどれか。 1 著しく歩行者の通行を妨げることとなる場合を除いて、道路右側の路側帯を通行できる。 2 路側帯を通行するときは、歩行者の通行を妨げないような速度と方法で通行しなければならない。 3 路側帯とは、歩道のない道路又は歩道のない側の路端寄りに、白線によって帯状に区画された部分をいう。
-----	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<遮断踏切立入り：危険行為 6 関係>

問 6	自転車の踏切における通行方法について、誤りはどれか。 1 踏切を通過しようとするときは、停止線の直前で停止し、かつ、安全であることを確認しなければ進行してはならない。 2 警報機が鳴っている間に踏切に入っても、まだ遮断機が閉じ始めなければ「遮断踏切立入り」違反には当たらない。 3 車体の一部が踏切にかかってから遮断機が閉じ始め、又は警報機が鳴り始めたときは、そのまま踏切に進入り通過することができるが、状況によっては、後退して踏切の外に出るなど臨機の措置をとるべきである。
問 7	自転車の踏切での通行について、誤りはどれか。 1 信号機があり、表示する信号に従うときは、踏切の直前で停止せずに進行することができる。 2 踏切では、必ず一時停止をし、自転車から降りて左右の安全を確かめ、自転車を押して渡るのがよい。 3 踏切の直前に停止線がない場合は、遮断踏切に注意しながら、一時停止せずに進むことができる。

<優先道路通行車妨害・交差点安全進行義務違反：危険行為 7 関係>

問 8	信号機による交通整理の行われていない交差点の優先等について、誤りはどれか。 1 優先道路を示す標識等がない交差点では、交差する道路の幅員が明らかに広い方が優先道路となる。 2 交差道路が優先道路であるときは、優先道路の車両等の進行を妨害をしてはならないが、歩行者がいなければ徐行する義務はない。 3 交差点に入ろうとし、及び交差点内を通行するときは、交差点の状況に応じ、交差道路を走る車両等や、反対方向から進行してきて右折する車両等、横断する歩行者に特に注意し、できる限り安全な速度と方法で進行しなければならない。
-----	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<交差点優先車妨害：危険行為 8 関係>

問 9	信号機による交通整理が行われていない交差点の優先や右折方法等について誤りはどれか。
	1 道路の優先が明確でない場合、交差道路の左方から進行してくる車両の方が優先である。
	2 交差点で右折する場合、交差点を直進し、又は左折しようとする車両等の進行を妨害してはならない。
	3 信号機のない交差点で右折するときは、安全を確かめ十分に速度を落とし、交差点の中央に寄って曲がる。

<環状道路交差点安全進行義務違反等：危険行為 9 関係>

問 10	車両が環状交差点を進行する際の通行方法について、誤りはどれか。
	1 車両等は、環状交差点内を進行する車両等の進行を妨害してはならない。
	2 車両等は、環状交差点に入ろうとするときは必ず一時停止しなければならない。
	3 車両等は、環状交差点を通行する（環状交差点において左折し、右折し、直進し、又は転回する）ときは、あらかじめその前からできる限り道路の左側端に寄り、かつ、できる限り環状交差点の側端に沿って右回りに徐行しなければならない。
問 11	車両等が環状交差点を進行する際の通行方法について、誤りはどれか。
	1 環状交差点に入ろうとするときは、徐行しなければならない。
	2 環状交差点に入ったり、同交差点内を通行するときは、状況に応じて、交差点に入ろうとする車両等、交差点内を進行する車両等及び同交差点又はその直近で道路を横断する歩行者に特に注意して、かつ、できる限り安全な速度と方法で通行しなければならない。
	3 上記 2 に違反しても、環状交差点における一般的注意義務を規定したものであるため、危険行為には当たらない。

<指定場所一時停止等：危険行為 10 関係>

問 12	一時停止の道路標識のある交差点での通行方法について、誤りはどれか。
	1 車両等は、一時停止の道路標識がある交差点では、停止線の直前で一時停止しなければならない。
	2 停止線がない場合は、交差点の直前で一時停止しなければならない。
	3 一時停止後、交差道路を走る車の通行を妨害しても危険行為には該当しない。

<歩道通行時の通行方法違反：危険行為 11 関係>

問 13	「普通自転車」が歩道を通行できる場合について、誤りはどれか。
	1 道路標識等により「自転車通行可」となっているときは通行できる。
	2 運転者が、幼児・児童（14歳未満）、70歳以上の者、車道通行に支障のある身体障害者のときは通行できる。
	3 道路工事や連続した駐車車両などのため道路の左側を通行するのが困難なときや、車の通行量が多く、かつ、車道の幅が狭いなどのため、追越し車両との接触の危険があるときなど、安全のためやむを得ないときは通行できる。
問 14	「普通自転車」の歩道通行について、誤りはどれか。
	1 歩道の中央から車道寄りの部分を徐行しなければならず、また、歩道上に「普通自転車通行指定部分」があるときは、同指定部分を徐行しなければならない。
	2 歩道での通行が、歩行者の通行を妨げることとなるときは、十分に安全を確認して徐行すればよい。
	3 普通自転車通行指定部分を通行するとき、同指定部分を通行する歩行者、又は通行しようとする歩行者がないときは、徐行ではなく、歩道の状況に応じた安全な速度と方法で通行することができる。
問 15	「普通自転車」の規定について、誤りはどれか。
	1 長さ200センチメートル以内、幅60センチメートル以内である。
	2 運転席が一つで、それ以外の乗車装置がない。（幼児用座席は除く）
	3 ブレーキが、走行中簡単に操作できる位置にある。

<制動装置不良自転車運転：危険行為 12 関係>

問 16	自転車の制動装置について、誤りはどれか。
	1 制動装置を備えていないため、交通の危険を生じさせるおそれのある自転車（制動装置不良自転車）は運転してはならない。
	2 制動装置は時速10km/hのとき、3メートル以内の距離で停止させることができるものでなければならない。
	3 制動装置は、前輪又は後輪のどちらかに備えていれればよい。
問 17	自転車の制動装置に関する規定について、誤りはどれか。
	1 「交通の危険を生じるおそれがある」とは、制動装置を備えていないか、制動装置を備えているが整備がされていない自転車を運転することによって交通の抽象的危険が予想されることを言う。
	2 「前輪又は後輪」とは、それぞれ「すべての前輪」、「すべての後輪」を意味する。
	3 三輪車の場合、2個の後輪のうち、片方のブレーキがしっかり効けばよい。

<酒酔い運転：危険行為 13 関係>

問 18	<p>自転車の飲酒運転について、誤りはどれか。</p> <p>1 酒に酔って自転車を運転する行為は、危険行為に当たる。</p> <p>2 酒に酔って運転しようとする者に自転車を貸す行為は、車両等の提供罪に当たる。</p> <p>3 お酒を飲んでいても、酔っていなければ酒気帯び状態なので違反にはならない。</p>
------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<安全運転義務：危険行為 14 関係>

問 19	<p>自転車の乗り方について、誤りはどれか。</p> <p>1 運転者は、ハンドル、ブレーキその他の装置を確実に操作し、かつ、道路、交通及び当該車両等の状況に応じて他人に危害を及ぼさないような速度と方法で運転しなければならない。</p> <p>2 イヤホン等を使用して、周囲の音が聞こえない状態で自転車を運転することは禁止されており、危険行為に当たる。</p> <p>3 傘をさしての運転や、携帯電話を手に持って通話・ボタン操作をしながらの運転、片手運転、二人乗り、並進、無灯火は違反である。</p>
------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

<その他：歩道通行に関すること>

問 20	<p>普通自転車の歩道通行について、誤りはどれか。</p> <p>1 「自転車通行可」の歩道があっても、歩道を通行せず、車道を走行してよい。</p> <p>2 歩道の普通自転車通行指定部分を通行するときは、指定部分内の中央より左側を通行しなければならない。</p> <p>3 歩道通行ができる歩道であっても、警察官や交通巡視員から歩行者の危険を防止するため車道を通行するよう指示されたときは、従わなければならない。</p>
問 21	<p>普通自転車の歩道通行について、誤りはどれか。</p> <p>1 自転車通行可の歩道であれば、道路の左右どちらの歩道でも通行できる。</p> <p>2 歩道で自転車どうし行き違うときは、速度を落としながら安全な間隔を保ち、歩行者に十分注意して、対向する自転車を右に見ながら避けるようにする。</p> <p>3 歩道とは、歩行者と普通自転車の通行の用に供するため、縁石線又はさくその他これに類する工作物によって区画された道路の部分である。</p>

<その他：通行区分、通行帯等に関するもの>

問 22	<p>「自転車道」の通行方法について、誤りはどれか。</p> <p>1 普通自転車は、自転車道が設置されている道路では、自転車道以外の車道を横断する場合又は、やむを得ない場合を除いて自転車道を通行しなければならない。</p> <p>2 道路の片方のみ自転車道が設置されていたため、反対側の車道を通行した。</p> <p>3 自転車道を通行する際は、自転車道の中央から左側部分を左側端に沿って通行しなければならない。</p>
問 23	<p>「自転車横断帯」の通行方法について、誤りはどれか。</p> <p>1 道路を横断するとき又は、交差点を通行するとき、近くに自転車横断帯がある場合は、自転車横断帯を通行しなければならない。（罰則はない。ただし警察官の指示に従わず自転車横断帯を通行しないときは罰則がある。）</p> <p>2 交差点で自転車横断帯を通行する場合は、道路の左右どちらの自転車横断帯を通行してもよい。</p> <p>3 自転車横断帯を通行するときは、必ず徐行しなければならない。</p>
問 24	<p>「横断歩道」の通行について、誤りはどれか。</p> <p>1 近くに「自転車横断帯」がなく、「横断歩道」がある場合は、自転車に乗って横断歩道を渡ることができる。</p> <p>2 横断中の歩行者がいるときなど、歩行者の通行を妨げるおそれのある場合は、徐行しなければならない。</p> <p>3 横断歩道を通行するときは、歩行者用信号機に従わなければならないが、左右どちらの横断歩道を通行してもよい。</p>
問 25	<p>自転車の通行方法について、誤りはどれか。</p> <p>1 左折レーンが設置されている交差点において、自転車で直進したいときは、あらかじめ直進レーンの左側端に進路変更をしなければならない。</p> <p>2 進行方向別の通行区分については、軽車両は除外されているので、自転車は左折レーンの左側端を直進できる。</p> <p>3 規制時間内のバス専用レーンであっても、軽車両は除外されているので、自転車でバス専用レーンの左側端を通行した。</p>

<その他>

問 26	<p>自転車が道路の中央から右の部分にその全部又は一部をはみ出して通行できる場合について、誤りはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none">1 道路が一方通行となっているとき。2 道路の左側部分の幅員が自転車の通行のため十分なものでないときや、道路破損、工事等で道路の左側を通行できないとき。3 道路の左側部分の幅員が5メートルに満たない道路で、他の車両を追い越そうとするとき。（道路標識等により追越しのため右側部分にはみ出して通行することが禁止されている場合を除く。）
問 27	<p>自転車の通行方法等について、誤りはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none">1 自転車のハンドルに専用器具を付け、同器具に傘を差して運転することは、不安定となったり、視野が妨げられたり、傘が歩行者等に当たるおそれがあるなど危険である。2 前を歩く歩行者が邪魔なときは警音器（ベル）を鳴らす。3 自転車を駐車するときは、駐車禁止以外の場所に、歩行者や他の車の通行の邪魔にならないようにしなければならない。
問 28	<p>山梨県における自転車の乗車人員について、誤りはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none">1 16歳以上の者は、小学校就学の始期に達するまでの者2人を幼児2人同乗用自転車に乗せて運転することができる。2 16歳以上の者は、小学校就学の始期に達するまでの者2人を幼児2人同乗用自転車に乗車させ、更に幼児（6歳未満の者）1人を背負って運転することができる。3 16歳以上の者は、小学校就学の始期に達するまでの者1人を幼児用座席に乗せ、更に幼児（6歳未満の者）1人を背負って運転することができる。
問 29	<p>自転車の灯火等について、誤りはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none">1 前照灯は、白色又は淡黄色で、夜間前方10メートルの距離にある道路上の障害物を確認できるものでなければならない。2 昼間、トンネルや濃霧の中を通行するとき、夜間ではないので前照灯を点灯させる必要はない。3 自転車は、後方100メートルから照射して容易に視認できる反射器材を備えていなければならない。
問 30	<p>自転車の整備等について、誤りはどれか。</p> <ol style="list-style-type: none">1 自転車安全整備店で点検整備（有料）を受けるとTSマークに付帯する保険に加入することができる。2 少なくとも1年に1回は、定期的に自転車安全整備店で自転車の定期点検を受け、必要な整備をしてもらうことが大切である。3 点検は、自転車を使用するときにその都度行う「定期点検」と自転車各部の機能を日常点検よりも詳しく調べる「日常点検」の二つに分けることができる。